

# 渥美半島 大地と海の恵み 8

農政課 ☎23-3517

## ◆農産物輸出の取り組み

平成25年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことで、日本食が世界中でブームとなっています。こうしたことから国では、平成31年までに農林水産物および食品の輸出額1兆円を目標に掲げています。全国有数の農業地域である田原市では、この目標達成の一翼を担う取り組みを行っています。今回は、本市における海外向けの農畜産物販路拡大事業について紹介します。

## ●東南アジアでトップセールスを実施

田原市では、10年程前から豊橋市と連携して香港向けに本市産のメロンやトマトの販路拡大に取り組んでいます。まだ少量ですが、販路が出来るがりがつつあります。

次なるターゲットに選んだ国はシンガポール、タイ、マレーシアなどをはじめとする東南アジア諸国です。この地域は、経済成長が著しく需要が見込まれることから、本市農産物の認知度を高めるため現地の流通業者

●シンガポールでの農産物フェアの様子



や消費者へのPRに取り組んでいます。今年度は、シンガポールで本市単独の農産物フェアを開催し、アールスメロン、タカミメロン、イエローキング、みかんなどを田原市長とJA愛知みなみ組合長が先頭に立ってセールスを行いました。

また、マレーシアの首都クアラルンプールで開催された愛知県フェアでは、本市産のメロンや大葉の販売促進を行いました。このイベントでは、愛知県知事

も自ら本市産メロンのセールスを行うなど、積極的なPRを行いました。両イベントとも、来場された多くの方に、本市の農産物を試食していただき、好感触を得ることができました。

海外への販路拡大は一朝一夕で結果が出るものではありません。しかし、今後国内の人口減少に加え、世界人口の増加や発展途上国の経済成長などを考えると、こうした取り組みは全国有数の農業地域である本市として極めて重要であると考えています。

今後も本市農産物の海外への販路拡大のため、PR活動に引き続き取り組んでいきます。



●田原市産農産物のPRを行う大村知事

今月の花

11月の

## 渥美半島の花と鉢花

### 輪菊

(花/出荷時期:通年)

#### 花ことば

高貴、高潔

日本を代表する花の1つで、皇室の紋章に使われています。全国1位の生産量、約3億5千万本出荷されています。



### ポインセチア

(鉢花/出荷時期:10月下旬~12月上旬)

#### 花ことば

祝福、幸福を祈る

赤と緑が色鮮やかな鉢花。クリスマスフラワーとも呼ばれ、県内1位の生産量、約50万鉢出荷されています。

